

令和元年度 日之影町立日之影小学校 学校評価

○「評価」について、目標の達成度に基づき、次の4段階で評価を行う。

4：期待以上、3：期待どおり、2：やや期待を下回る、1：改善が必要

○「評価者」…「第一次」：学校による自己評価、「第二次」：保護者評価、「第三次」：教育懇話会委員評価

評価項目	達成目標と方策	第一次評価者所見	評価		
			第1次	第2次	第3次
学力向上・心の教育の推進	1 学力向上を図るための授業力の向上と基礎学力定着を図る指導の徹底	授業力の向上と基礎学力の定着については、児童・保護者・職員のいずれも、概ね目標に近い評価となった。主題研究を中心とした問題解決的な学習など日々の授業での取組や、個に応じた指導（特別支援教育支援員による指導も含めて）の充実によるものと考えられる。	3	4	4
	2 読書活動の充実	読書活動については、児童・保護者・職員のいずれも、概ね目標に近い評価となった。授業での図書室の活用や読み聞かせ活動、家読週間の取組での家庭の協力、図書活動推進員配置による環境整備の充実など本に親しむ機会を確保した成果だと思われる。	4	4	4
	3 道徳教育の充実	道徳教育については、児童・保護者の意識に比べると職員の結果はやや低い評価となった。「特別の教科 道徳」研修会の充実とともに、全教育活動の中で道徳教育を位置付け、その実践と啓発について、より一層の取組が必要である。	3	4	4
	4 キャリア教育の推進	キャリア教育については、保護者に比べて職員の評価が低くなっている。児童の毎学期の目標に「将来の目指すべき自分の姿」等掲げること、将来の目標達成に向けての努力事項を入れているが、全教育活動を通して児童の発達に応じたキャリア教育を計画的に推進していきたい。	3	3	3
生徒指導の充実	1 気持ちのこもったあいさつの習慣化への指導の徹底	生徒指導の日常的な指導として「きりり日之影っ子」（廊下歩行・あいさつ・会釈・立腰）に取り組み、児童の言動を褒める指導を基本としてきた。児童の意識としては高いが、地域の中でのあいさつ等の取組については個人差が見られるようである。今後も継続した指導を行っていきたい。	3	3	3
	2 安全指導の徹底	本年度の避難訓練では、地域の実態に応じた不審者対応・地震・火災の避難訓練を実施した。児童の意識としては高まってきているが、今後は危険予測能力や危険回避能力の育成に向けての取組を一層充実させ、安全指導の徹底を図っていきたい。	3	3	3
	3 いじめ・不登校・問題行動に対する指導の徹底	いじめ・不登校等への対応については、毎月の児童へのアンケートをもとに、全職員で「サンサン委員会」にて情報を共有しながら指導を行ってきた。今後も、早期発見、早期指導に努め、保護者や子ども教室とも連携しながら進めていく必要がある。	3	4	4
	4 特別な支援を要する児童への指導の充実	保護者・職員ともに概ね目標に近い評価となった。「サポート会（学期1回）」を計画的に設定することで、個に応じた支援の在り方について職員で共通理解を図ることができ、具体的な指導に生かすことができた。	3	3	4
健康教育の推進	1 心身の健康の指導の充実	児童・保護者・職員のいずれも、概ね目標に近い評価となった。日常的な保健指導について養護教諭を中心に全職員で共通実践しているため、健康的な生活習慣が定着してきている。	3	4	4
	2 体力向上の推進	児童・保護者は、高い評価となった。今後は、「体力向上プラン」をもとに体育指導の充実と運動の習慣化、また、運動に親しむ環境整備を図っていきたい。	3	4	4
家庭や地域社会との連携 PTA活動の充実及び	1 全員参加のPTA活動	保護者・職員ともに全員が参加するPTA活動として取り組んでいる。今後も引き続き、全員が協力して活動をシェアし、少ない労力でやりがいを感じることでできるPTAとしたい。	3	4	4
	2 地域ネットワーク会の充実	地域ネットワーク会からは学校の様々な教育活動への支援をいただいている。さらに情報交換や交流を深め、児童の健全な育成を目指した組織的な取組を継続していきたい。	4	4	4
	3 学校評価の活用と充実	学校評価の結果については、職員で共通理解を図り、課題点についての改善策を講じるとともに、ホームページ等で結果を公表している。	3	4	4